

新連載 Excel 快速 お仕事術

満載!
業務に役立つ
実用テクニック



牧村 あきこ
MAKIMURA, Akiko

第 1 回

データ入力を助ける簡単フォームを作ろう

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
Excel 2000/2002

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥EXCELディレクトリに収録しています。

・売上管理.XLS
今回作成したサンプルアプリケーション



はじめに

今月からExcel VBAの連載がスタートします。とはいえ、VBAのVBAによるVBAのための……という内容ではありません。この連載のテーマは、ずばり「いつもの仕事にすぐに役立つ実用プログラミング」です。つまり、どれだけテクニカルなプログラミングを行なうかではなく、「最小の手間でどれだけ仕事に役立つツールが作れるか」ということに重点をおきたいと思います。

大きな業務システムをさくさくと作ることができればそれが一番なのですが、現実ではそう簡単にはゆきません。それよりも手の届く範囲で、日頃ちょっと不満に思っているところをツール化するほうが、よっぽどコストパフォーマンスがいい場合もあるのです。

本連載では、実際に考えられる

Excelの活用事例を取り上げ、「こんなことができると便利」というサンプルを紹介してゆきます。また、Excel VBAのテクニカルな解説だけでなく、仕事の効率化を図るためのアイデアとして活用していただけるような内容に仕上げたいと思います。



データ入力を助けるミニフォームを作る

本格的なデータ管理なら、やはり専用のデータベースソフトに勝るものではありません。しかし、スタンドアロン環境でデータ件数もさほどでないなら、Excelのデータベース機能でも十分です。Excel本来の機能を利用して集計などもシームレスに行なえるというメリットもあります。

ただし、Excelのデータベース機能に関して、“入力周りのインター

フェイスが今ひとつ”と感じる人も多いでしょう。だからといって、最初からすべての要求を満たすオリジナルの入力フォームを作るのは大変です。まずは、手ごろな入力補助ツール作りから始めてみましょう。

□ サンプルイメージを確認

では最初に、ツールのイメージを説明しましょう。今回は商品の売上管理を行なうサンプルデータを利用します。内容をわかりやすくするために、できるだけシンプルな構成にしました。このファイルは、4つの表をシートごとに管理しています (図1~3)。

このサンプルでは顧客情報と商品情報をそれぞれ別のシートで管理しています。商品情報に関しては、取り扱いの有無や価格の変動などの履歴も残しておきたいため、このように年度別の商品表を用意しました (図3)。

「管理」シート (図1) は、商品の売上を記録するためのリストです。LookUp系のワークシート関数を用いて、D列の商品番号を入力すると自動的に該当する商品名や価格が表示される、という仕掛けは定番ですね。でも、「商品番号」のような番号を入力するとき、間違えたことはないでしょうか？ 番号を見ただけでは、具体的な商品名がわからない場合も多いですし、いちいち商品リストを確認するのも面倒です。

これは顧客番号に関しても同じことが言えます。人間の目には商品名や顧客名から番号を入力できたほうが便利なのです。「ちょっと不便かも」そう感じたときこそお手軽ツールの出番です。

□ ツールの仕様を決める

こうしたツールを作るとき、最初に仕様を決めます。

図1: 「管理」シート (商品の売上状況を記録する)

管理番号	日付	顧客番号	商品番号	商品名	価格	個数	金額
DM0001	03/10/10	CU0001	CM0002	ラベンター	650	1	650
DM0002	03/10/11	CU0005	CM0003	カモミール	900	2	1,800
DM0003	03/10/12	CU0002	CM0005	ローズマリー	500	1	500

「誰が使うのか」「どの程度の機能を盛り込むのか」「エラー処理はどうするか」といったことを念頭におかなければなりません。このような作業に費やす人件費もタダではありませんので、「時間をかけて完璧なものを作ればよし」という単純なものではないことはおわかりいただけるでしょう。

ごく一部の人間の作業を助けるためのツールであれば、「前提条件」を決めておくことで、プログラム作成の負荷はかなり少なくなります。

前提条件

- 売上管理のリストは3行目から配置され、一件目のデータは4行目から入力する
- 売上リスト全体には罫線が引かれているものとする
- D列、E列、F列にそれぞれ商品番号、商品名、価格を入力する

図2: 「顧客」シート (顧客情報を管理)

顧客番号	顧客名	連絡先
CU0001	鈴木太郎	090-11***-****
CU0002	田中ひろし	080-***-****
CU0003	佐藤洋子	045-5**-*
CU0004	小林和夫	090-3***-****
CU0005	渡辺真理子	
CU0006	山田直子	042-***-****

図3: 「商品表2002」「商品表2003」シート (年度別の商品情報を管理)

商品番号	商品名	価格
CM0001	ミント	650
CM0002	ラベンター	600
CM0003	カモミール	850
CM0004	グレープフルーツ	500
CM0005	ローズマリー	450

商品番号	商品名	価格
CM0001	ミント (取扱中止)	***
CM0002	ラベンター	650
CM0003	カモミール	900
CM0004	グレープフルーツ	550
CM0005	ローズマリー	500
CM0006	オレンジ	850
CM0007	ジンジャー	500